

彙報

法華經文化研究所（安田治樹所長）では、平成三十一年度・令和元年度において以下の活動を行った。

法華經文化研究所では、仏教の東西伝播に関わる歴史文化の諸相解明を目的として、平成二十六年以来、文学部史学科と連携して立正大学ウズベキスタン学術調査隊（安田治樹調査隊長）を組織し、もっぱら同国スルハンダリヤ州のテルメズ市西郊に所在するカラ・テベ仏教伽藍址を対象として、発掘を含む現地調査、特別講演会、調査報告会、および調査概報の公刊等を行ってきた。当初五ヶ年乃至十ヶ年を予定したカラ・テベ調査は、諸般の事情により、五年目にあたる平成三十年度をもって一旦終止符をうち、本令和元年度中にその最終報告書を公刊の予定である。なお同調査は過去三ヶ年の活動が評価され、平成二十九年年度から文部科学省「私立大学ブランディング事業」に採択され（三ヶ年継続）、この間カラ・テベ調査の総括と本学事業のひろく内外への認知を企図して、平成三十年十一月にウズベクから研究者五名を招聘してシンポジウムを開催し、成功裡に閉幕した。カラ・テベと同じくテルメズ市西郊に所在するズルマラ仏塔は、近年とりわけ風化類聚が著しく、本学調査隊もはやくからその調査、保全の急務であることを認識し、一部測量や周辺調査を試みていた。カラ・テベの発掘調査を終える平成二十九年年度からは、調査対象をこのズルマラ仏塔に移し、

気象観測機器を設置して経時的なデータの集積に努めるとともに、日乾煉瓦の耐水性の検証やレーザーによる地下探査、塔体のレーザー実測、空中からの初のドローン動画撮影、さらにテルメズ大学と共同して塔周辺の敷力所でトレンチ（試掘坑）を掘るなどを行なっている。これらは将来の塔の保全修復事業に向けての基盤整備として必要な調査である。本学のブランディング事業に位置づけられてきた同事業は当面令和三年度まで継続し、最終年度に報告書を公刊の予定である。

同事業のカウンターパートであるテルメズ大学は、テルメズ考古博物館とともに平成二十七年以来本学と調査に関わる事業協定を締結しており、同大学からは毎年発掘等の支援を受けるとともに、本学教員が過去二年の間に日本文化に関わる講演を行い、今年度は九月に本学文学部教授 池上悟先生（当研究所特別所員、調査隊副隊長）が漢鏡を通しての古代東西交渉について講演した。

本年度の法華經文化研究所研究会の第一回（令和元年五月二十九日）は、当研究所研究員・本学仏教学部助教 久保真紀子先生による「アンコール期の寺院建築にみられる尊像配置と統治理念」と題する発表講演がなされた。

第二回（令和元年六月二十六日）は、本学仏教学部仏教文化講座との共催で、上智大学教授・上智大学アジア人材養成研究センター所長 石澤良昭先生による「祇園精舎アンコール・ワット―絵図面の発見とキリシタン弾圧―」と題する講演がなされた。

第三回（令和元年十月三十日）は、当研究所研究員・本学仏教学部講師 岡田愛先生による「公教育で宗教を教えるための課題と方法―米国「公立学校で宗教を教える際のガイドライン」を参考

に―」と題する発表講演がなされた。

第四回（令和元年十一月二十七日）は、当研究所所員・本学仏教学部教授 安中尚史先生による「立正大学における僧侶養成と日蓮宗の僧侶資格」と題する発表講演がなされた。

訃報。久保継成先生（当研究所枢機顧問）は、令和元年十一月三日逝去された。享年八十三歳。謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

記録。令和元年九月七・八日の両日、第七十回日本印度学仏教学会（於佛敎大学）。令和元年八月三十一日・九月一日の両日、日本佛敎学会第八十九回学術大会（於東洋大学）。令和元年九月十三・十四・十五日の三日間、第七十八回日本宗敎学会（於帝京科学大学）。令和元年十一月八・九日の両日、第七十二回日蓮宗敎学研究発表大会（於立正大学）が開催された。また、その席上において「坂本日深学術賞」の表彰式が執り行われた。本年度の受賞者は「チベット語訳『妙法蓮華註』和訳」に関する一連の論文に対して、当研究所特別所員 望月海慧氏に決定した。

法華經文化研究所第一回研究員研究生研究会

（令和元年七月二十四日）

田代恭葉（研究生）

「瑜伽師地論戒品の一考察」

法華經文化研究所第二回研究員研究生研究会

（令和元年十月三十日）

浅野学（研究生）

「円珍『法華論記』の撰述に関する一考察」

中井本勝（研究員）

「吉蔵と智蔵との二諦説の差異について」

なお、本第四十六号は、安田治樹所長の退職を記念して関係各位から寄せられた論考による特集号とした。大方の諒解を乞いたい。

法華經文化研究所役職員

(平成三十一年度・令和元年度)
(令和元年五月十五日現在)

枢機顧問

菅野日彰 内野日総 中川法政

顧問

久保継成 竹内日祥 庭野日鏡
伊藤瑞叡 庵谷行亨 冠賢一
北川前肇 小松邦彰 坂誥秀一
坂輪宣敬 佐々木孝憲 仲澤浩祐
原実 松村壽巖 三友健容
宮川了篤 渡邊寶陽
塩田義徹 松永慈弘 松井大英
北山孝治 田中恵紳 木村吉孝
木内隆志

参与

安田治樹
秋田貴廣
秋田貴廣
丹治恭子 安中尚史 高橋堯英
戸田裕久 則武海源 寺尾英智
三輪是法 安田治樹 原慎定
秋山光文 アルズグリ・グリ
伊加利庄平 池上悟 池上要靖
石田智宏 板倉聖哲 伊藤瑞康
今成元昭 岩田諦静 岩本篤志
上田本昌 江川式部 及川真介
大森宣昌 岡田行弘 岡田真美子
奥野光賢 荻谷定彦 河村孝照
菅野龍清 北村行遠 木村中一
桐谷征一 金天鶴 金炳坤
窪田哲正 黒田日出男 桑名貫正

所長

安田治樹

副所長

秋田貴廣

特別所員

池上悟

研究員

積果暉 近藤信一 阪田正一
佐古年穂 笹岡直美 佐々木一憲
佐野靖夫 信太司 柴田寛彦
柴田章延 清水海隆 清水要晃
下川邊季由 シャンカル・タバ
周柔含 鈴木敏弘 鈴木隆泰
関戸堯海 高佐宣長 高寫正人
高橋堯昭 高森大乗 田島毓堂
丹治堯義 池麗梅 塚田貫康
都守基一 時枝務 中尾堯
中條暁秀 西沢史仁 沼義昭
野口眞澄 野坂知世 野沢佳美
萩原義雄 橋岡昭男 浜島典彦
平岡聡 福士慈稔 藤井教公
古庄浩明 方亞平 細谷恵志
本郷孝衣 町田順文 町田是正
間宮啓壬 丸山孝雄 三友量順
蓑輪顕量 村上東俊 村野宣男
望月海慧 望月海淑 望月眞澄
矢放昭文 藪内聡子 山崎守一
湯山明 渡邊彰良 岡田文弘
井上さやか 岡田愛 岡田大輝
大乘文晴 片山妙晏 神田大輝
木村紫 久保真紀子 久保田正宏
佐々木亜紀 権田ガワン・ウースン
庄司史生 白山和宏 高平妙心
竹内正祥 武田悟一 鄭世成
内藤善之 中井本勝 仲澤哲志
中村晃朗 堀江宏文 本間俊文
村田海静 山崎斎明 吉村彰史
浅野学 加茂通佳 小山俊介
大門浩子 高橋要壽 田代恭菜
富永曜照 中井本蓉 日比宣仁

研究生

富永曜照 中井本蓉 日比宣仁

運営委員・分掌

堀江正教

所長

秋田貴廣 高橋堯英 手島一真

副所長

戸田裕久 則武海源 安田治樹

総務部長

安田治樹

研究部長

秋田貴廣

資料部長

手島一真

総務補佐

戸田裕久 則武海源 久保真紀子